

AIで心躍る未来を



2024年12月期（第7期）中間決算説明資料

ニューラルグループ株式会社
2024年8月9日

2024年12月期（第7期）中間決算ハイライト

- **【総括】** 2023年度における自社AIサービスの確立を機に、2024年度は売上高成長・収益力強化の双方が力強く回復。**第2四半期も順調に事業が伸長し、収益力は損益分岐水準に到達。第3四半期からの利益創出に目途。**
- **【売上】** 2024年度第2四半期売上高は**880百万円**（2023年度同一四半期対比**+14.0%**）にて着地。国内外トップ企業との提携を通じた、技術面・サービス面双方での事業強化も推進。
 - 2024年6月より、NVIDIAパートナープログラム「**NVIDIA Partner Network**」に参画。NVIDIA最先端のGPUサーバー機**NVIDIA DGX Station、Metropolisソフトウェア、JetPack SDK**、等を最大限に活用し、エッジ機器上での**AI推論を更に高速化**。
 - エッジAIやSaaSシステムを活用した1on1支援サービス「**KizunaNavi**」をソニーと共同で開発し、サービス提供を開始。両社が持つ映像・音声の解析AI技術と生成AIを用いて、1on1ミーティングの課題を解決。社員の働きやすさの向上や成長を支援。
- **【収益性】** 自社AIサービスの販売に必要な研究開発費や営業費用が顕著に効率化。急速に収益性が改善され、**損益分岐水準に到達**。
 - 第2四半期に**損益分岐水準**に到達（最終月の**6月は営業黒字**）。2021年度 第4四半期から約2年間に渡る事業投資を経て、**利益・キャッシュの創出フェーズ（投資回収フェーズ）への転換**に成功。
 - 対前年同一四半期で、売上高が**14%伸長**する中、販売管理費は**144百万円の効率化**に成功（**年換算ベース576百万円の効率化**）。大幅に**損益分岐点が改善**。
 - 売上増加に対する営業利益増加率（限界利益率）は**60%**を超える高水準。高い限界利益率に下支えされ、**損益分岐後は急峻な利益の立ち上がり**を想定。
 - NVIDIAのエッジ機器やLED素子などの輸入・仕入に影響するドル円為替水準は、コーポレートレート**160円/ドル**で想定。足元の円高への推移は、下期業績に対する**好材料**として寄与する見通し。
- **【成長戦略】** **2023年下期から2024年においては、積極的な利益幅の拡大と、技術・事業モデルの強靱化を推進する。**
 - 自社AIサービスのスケール化を通じた**利益の拡大と飛躍**。
 - 収益モデルの**リカーリング性**を強化。**KizunaNavi**などの**SaaS事業**を積極的に展開。
 - 画像、音声領域の**先端AI技術**を自社サービスに搭載。**生成AI技術**の研究を継続。

- **当社の概要**
- 財務成績と事業モデル
- 成長戦略の方向性

経営陣の紹介



代表取締役社長
重松 路威

- マッキンゼー・アンド・カンパニー パートナー（共同経営者）東京支店、独フランクフルト支店および米シカゴ支店での勤務を経て2018年当社創業
- 東京大学大学院工学系研究科「工学部アドバイザーボード」メンバー（現）、経済同友会会員
- 東京大学大学院 工学系研究科修了（修士）



顧問
松尾 豊

- 東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター教授
- 日本ディープラーニング協会理事長、新しい資本主義実現会議有識者構成員、AI戦略会議座長
- ソフトバンクグループ社外取締役
- 2018年より当社顧問



取締役 常務執行役員
岩切 翼

- アクセンチュア株式会社を経て、2019年より当社参画
- AIサービス事業本部 本部長、ニューラルエンジニアリング株式会社 代表取締役社長
- 同志社大学生命医科学部医工学科卒



取締役 常務執行役員
山本 正晃

- ソニーにて15年間、技術開発や新規事業開発に従事し、2019年より当社参画
- グループアライアンス事業本部 本部長、ニューラルマーケティング株式会社 代表取締役社長
- 東京工業大学大学院機械宇宙システム専攻（修士）



常務執行役員 CTO
見上 敬洋

- 野村総合研究所にて研究開発部所属、画像認識モデルResNetや自然言語モデルLSTM等の先端領域での研究に従事
- 2020年より当社参画、2023年CTO就任
- 東京大学大学院理学系研究科修了（理学博士）、当時の研究領域は理論物理の物性理論



常務執行役員
一言 太郎

- 国土交通省において、公園緑地、都市計画、スポーツ施設等の政策立案に従事
- 委員歴等：日本造園学会、日本建築学会、全国の自治体（目黒区、静岡市、奄美市、村山市等）、みんなの公園愛護会
- 東京大学農学生命科学研究科修了

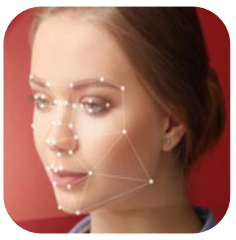
スマートシティを実現するAI技術やエッジ実装技術を多数開発・保有

人の属性解析

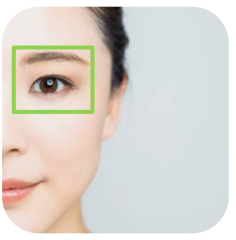
性別/年齢解析



顔認証



視線分析



ファッション解析



人の感情・思考解析

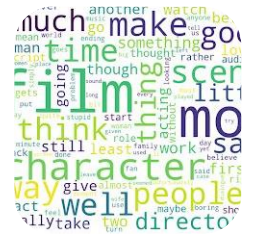
表情・感情解析



音声・感情解析



自然言語処理

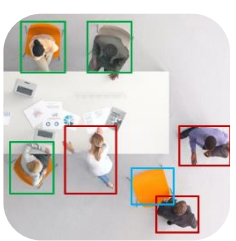


人の動き・行動解析

混雑度解析



空席検知



安心・安全見守り



侵入検知・防犯



車両解析

交通解析



駐車場満空把握



ナンバープレート検知



AIの社会実装に関する技術

エッジAI技術



エッジセキュリティ



広告配信最適化AI



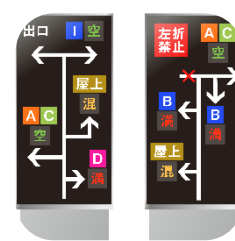
商品レコメンドAI



AIデータアナリティクス



AI-サインージ連携



AI-アプリ連携



当社ではエッジAIの強みを活かしたサービスを多数開発・提供

クラウドAI

従来のアプローチ



- **高コスト** (通信費・維持費)
- **高遅延** (ネットワーク負荷)
- **高消費電力**

エッジAI

当社が注力するアプローチ



- **低コスト**
- **低遅延**
- **グリーン**

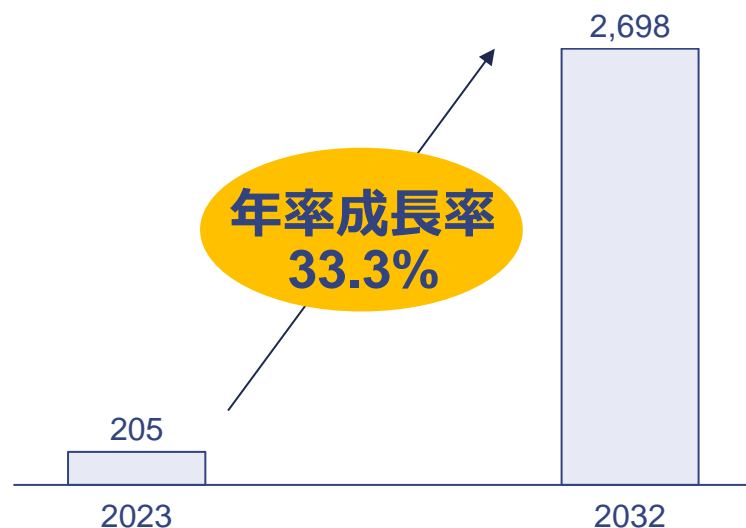
**プライバシー保護
にも大きく寄与**



エッジAIは世界的に大きな事業規模と高い成長性を有する

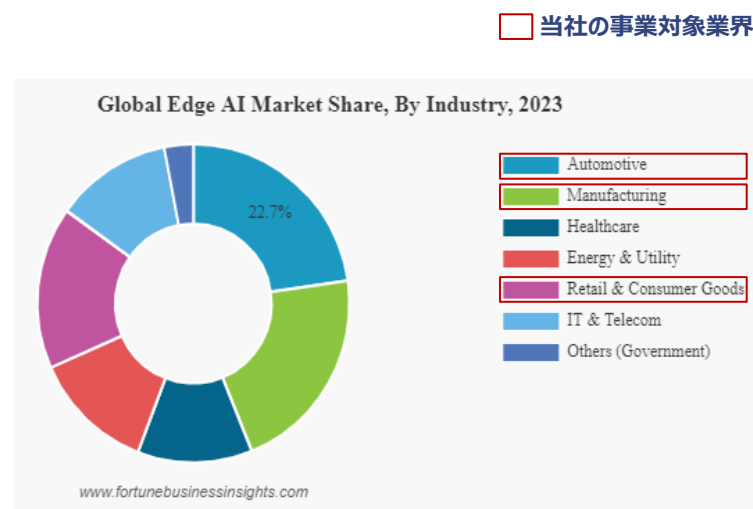
エッジAI市場は年率33.3%で成長

グローバル：エッジAI市場（億ドル）



成長領域の多くで当社は事業を展開

グローバル：エッジAI市場の業種内訳（2023年）



資料：<https://www.fortunebusinessinsights.com/edge-ai-market-107023> (Last Updated: July 29, 2024)

当社のAIライブラリは、多様な規格・環境下で汎用的に動作・稼働

当社はNVIDIA社の「Metropolisパートナー」として NVIDIA Jetsonシリーズを積極的に採用



- プロセッサ
- OS
- 言語

NVIDIA JETSON Xavier NX

Linux

python™ Rust

NVIDIA JETSON Nano

Linux

python™ Rust

NVIDIA JETSON TX2

Linux

python™

その他の対応プラットフォーム



- プロセッサ
- OS
- 言語

intel arm

Linux

python™

QUALCOMM™

ios android

Swift Java

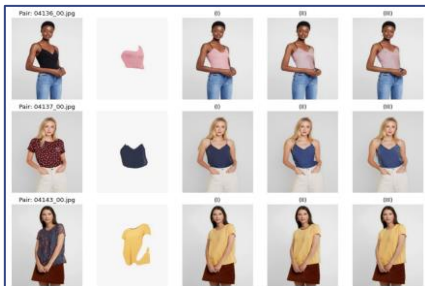
QUALCOMM™

Linux

python™

AIの先端研究を継続：新たな技術を当社サービスに随時盛り込むことで、サービスのプラットフォーム化や汎用化を加速、事業の参入障壁構築にも貢献

画像生成AIモデル



- 画像生成AIモデルを完全内製化
- 多彩なコンテンツ生成を可能にし、よりクリエイティブな広告制作へ応用

マルチタスク型AIモデル



- 別々だったAIモデルを統合したマルチタスク型AIモデルの開発
- マルチタスク化でメモリ使用量を約50%低減し、AI検知の高速化とエッジ機器小型化実現

妥協なきAI精度研究



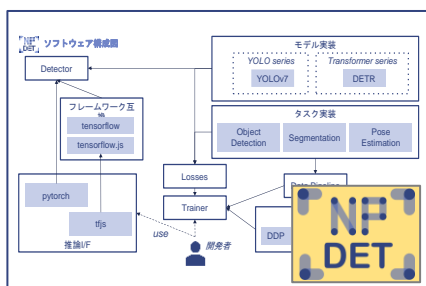
- 継続的なAI精度研究を実施し、当社の商用サービスに適用
- デジパークを中心に、異常環境下での**安定的な検出精度と汎用性能**を実現

エッジAI音声システム



- エッジ機器内でユーザー音声をリアルタイムで解析
- 自然言語解析によりユーザーへフィードバック可能な**Kizuna Naviを開発・リリース**

次世代AIモデル開発の高速化



- AIモデル開発プラットフォーム構築
- 学術レベルの最新手法を従来の1/10以下の工数で取込み可能
- 追加学習、商用サービス適用の**サイクルの高速化**

ニューラルプラットフォーム

- オンラインで接続される多数のエッジAI機器をリアルタイムで管理
- 遠隔でのプログラムの**自動アップデート**や**AIモデルの更新**を実現

- 学術領域で創出される**最先端AI技術**が**高速に実装**され、商用サービスに**遠隔アップデート**で盛り込まれる。
- サービス間でAIモデルや基盤技術が**横串で共通化**されることで、サービスが汎用化。**導入コスト低減と当社収益性向上**に寄与。
- それらが**高い参入障壁**や**顧客継続性**に寄与。

ニューラルグループは、エッジAIを通じて街の社会課題を解決し、空間価値を向上します




エッジAI & スマートシティ ソリューション

モビリティ・自動車管制



デジパーク

エッジAIを用いた安全や省人化



エッジアラート

画像AIによるファッショントレンド解析



AI MD

ナンバープレート・車両流動



デジスルー

働き方改革・人的資本活用

KizunaNavi

高級マンション向けAI広告メディア



FOCUS CHANNEL

都市人流



デジフロー

生成AIやリテールマーケティング

NeuralVision

生成AI活用やWeb生成



Generative Web
powered by ChatGPT

自社で革新的なAIサービスを構築し、顧客にご提供しています

観光・商業・物流施設におけるリアルタイム混雑状況の見える化



屋外平面駐車場に対し、
カメラ1台で100台超満空把握

(※25mの設置高さ想定)



駐車場出入口の
ラインカウントによる
混雑解析も可能

1 管理者向け満空把握管理

データ分析を通じ、
施設内の運用効率化・企画検討・
施策評価に活用

2 Webページ連携・発信可能

| | | |
|-----|-----|-----|
| 110 | 108 | 107 |
| 111 | 109 | 108 |
| 112 | 110 | 109 |
| 113 | 111 | 110 |
| 114 | 112 | 111 |
| 115 | 113 | 112 |
| 116 | 114 | 113 |
| 117 | 115 | 114 |
| 118 | 116 | 115 |
| 119 | 117 | 116 |

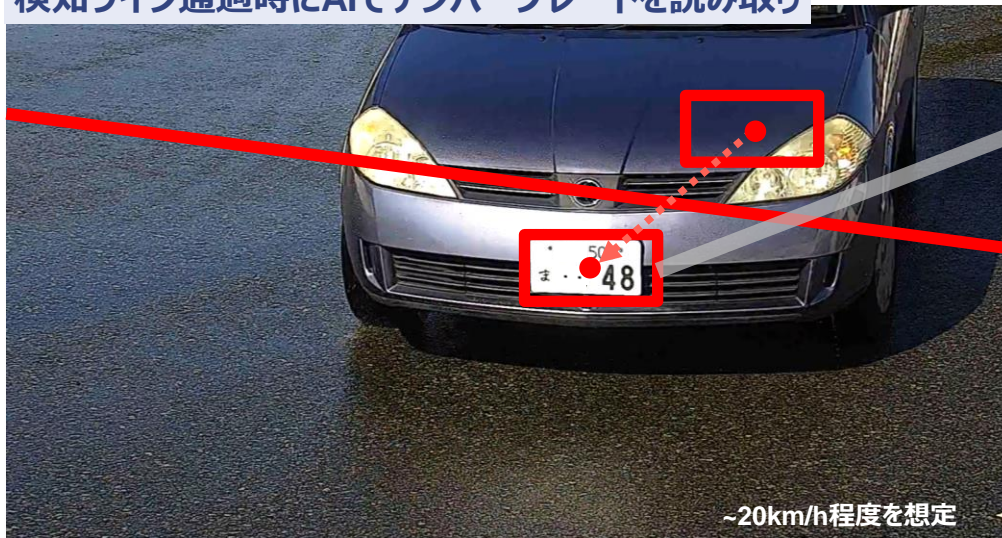
iPadやスマホ・PCでいつでもどこでも確認可能

3 サイネージ連携でドライバー誘導

リアルタイムに即時発報・連携可能

走行車両の車番解析を通じ、車の移動情報・滞在情報を見える化

検知ライン通過時にAIでナンバープレートを読み取り



AI認識で以下情報を取得

- 車籍地
- 分類番号
- ひらがな
- 四桁番号
- デバイス・カメラID
- 車両通過時刻
- 車両通過方向

車両の通過・滞在時間も把握

1 外部データ連携可能なWebUI

デジスルー

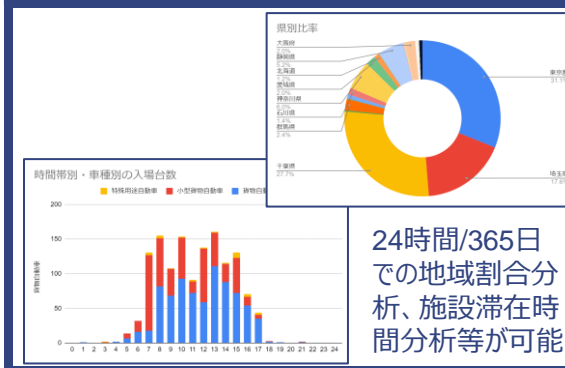
定期的にデータを連携

エンドユーザークラウド

外部システムとデータ連携可能

CSV形式でダウンロードが可能

2 車種/時間別に滞在時間を分析



3 登録/非登録車両の自動通知

ナンバープレートを検知して登録された車が来たことを伝える

登録/非登録車両の自動通知

入場通知: 202x/5/29 12:01
会社名: 株式会社ニューラルの運営
ナンバー: 品川-325-ラ-XXXX

退場通知: 202x/5/29 11:56

車番を事前登録し、リアルタイム来場通知

駐車場出口・道路等で、人・車両を方向別検知、即時発報可能

エッジAIによる
リアルタイム方向別検知



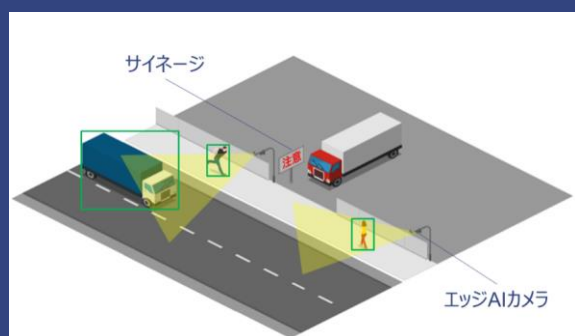
サイネージへの即時発報を実現



人手不足の誘導員を
AIカメラで代替し、
管理費用も効率化

2024年3月の「保安職業従事者」の有効
求人倍率は6.33倍と全職業の中で最大*

1 人検知・即時発報で安心な出庫



2 サイネージで誘導員業務省人化



誘導員コスト削減により、年間1,000万円
を超えるコスト効率化も可能

3 逆走検知・発報も可能



道路工事現場においても活用可能

* 2024年4月 厚生労働省 『一般職業紹介状況(令和6年3月分及び令和5年度分)について』

社員の働きやすさや成長を加速する1on1支援サービスをリリース

絆を深める1on1支援サービス

KizunaNavi

KizunaNaviは、最先端のAI解析技術を用いて1on1の質を向上させるサービスです。

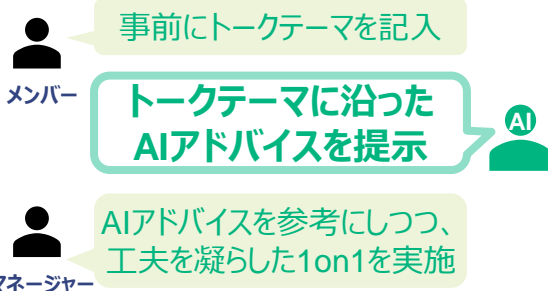
効果的な1on1の実施により、
企業力・組織力の飛躍的な強化を支援します。

導入企業例

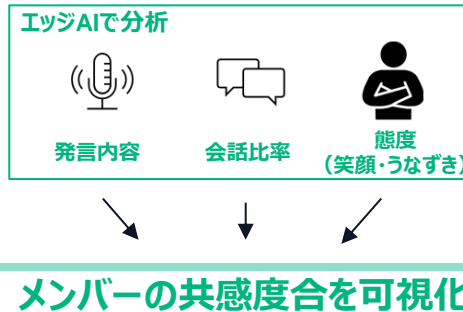


エッジAI・映像AI・音声AI・生成AIを駆使した、様々なAIアドバイスや記録機能が1on1を支援

トークテーマに沿ったAIアドバイス



マネージャーの面談スキルを向上



継続的な1on1の改善を促進

- 過去の1on1メモをいつでも参照可能
- AI評価の履歴も振り返ることで、1on1の質も向上
- 組織力を強化

1on1履歴や改善点を可視化



LEDビジョンの導入実績は全国12,000拠点以上で国内トップ

NeuralVision

- **生成AIを用いたコンテンツ生成支援**
3Dコンテンツや多様なクリエイティブ業務を生成AI技術でサポート
- **12,000拠点を超える導入実績**
大企業・官公庁・商業施設・個人商店といった多様な業種への圧倒的な導入実績
- **圧倒的な安定稼働実績**
寒冷地域や高温多湿地域も含む全国での安定稼働実績
- **柔軟な契約形態**
リース契約やクレジット・キャッシュ一括買取などを柔軟に対応



生成AI技術を活用した新規Web事業成長中

Generative Web powered by ChatGPT



機能1 ブログ自動生成

機能2 多言語変換

機能3 口コミ自動返信

機能4 SEO自動化

AI搭載型CMSで専門知識不要で手間なくウェブページの効果を最大限発揮

- ニューラルマーケティング社（当社完全連結子会社）の持つ広範な営業力と当社の持つAI開発力を組み合わせ、ウェブページ事業を新規立ち上げ
- 2023年5月より販売開始で生成AI分野を研究開発に留めず、迅速な事業化を実現

AIやスマートシティに関連する多くの官民団体に加盟

スマートシティ関連

総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

デジタル海外展開プラットフォーム

OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM

国土交通省

スマートシティ
官民連携
プラットフォーム

PLATEAU
by MLIT

TDPF
Tokyo Data Platform

大阪商工会議所
MaaS社会実装推進フォーラム

一般社団法人 スマートシティ 社会実装コンソーシアム
SMART CITY SOCIAL IMPLEMENTATION CONSORTIUM

業界団体

経団連

一般社団法人
日本ディープレニング協会

お役に立ちます！
大阪商工会議所

一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

一般社団法人
全国道の駅連絡会

一般社団法人
全日本駐車協会

CONSEO
Consortium for SandBio Earth Observation

一般財団法人
沖縄ITイノベーション戦略
センター

SENDAI BOSAI TECH

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

MFLP & LOGI Solution

企業との連携

MONET CONSORTIUM

NTTPC COMMUNICATIONS
【Innovation LAB】NTTPCのAIコラボレーションプログラム
Innovation LAB

NVIDIA
NVIDIA METROPOLIS

aws
Startup Ramp
Member

AWS Public Sector Startup Ramp

海外

日本タイ協会 THE JAPAN THAILAND ASSOCIATION

自治体や民間企業との連携を通じ、エッジAI技術の普及と発展に貢献

AI技術

- G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合 閣僚向け企業展示
- 経産省・経団連共催 スタートアップの海外展開に向けた官民連携カンファレンス 登壇
- アバンテック株式会社主催Tokyo AI フォーラム - 製造業DX・スマートシティ 登壇
- 第59回 コンピュータビジョン勉強会@関東 登壇
- 韓国政府主催 サイバーセキュリティ大会2023 出展
- 東京データプラットフォーム協議会 専門アドバイザーへの選任
- AWSジャパン「IoT 技術者向けAWSセミナー」他 “IoT Coreを使ったサービスの作り方”

街づくり

- 全日本駐車協会機関誌「PARKING NOW」寄稿
- 駐車場改革推進協議会 登壇
- LOGISTICS TODAY主催セミナー 登壇
- 渋谷区立北谷公園神南マーケット 未来のシブヤパークを考えよう 登壇
- 第39回SCビジネスミーティング「商業施設におけるAI活用について」登壇
- 室蘭市DX推進フォーラム デジタルがもたらす便利で快適な生活「つながるスマートシティ」パネリスト
- 新「道の駅むらやま」整備基本計画検討市民会議 アドバイザー

学術分野との連携

- 東京大学未来ビジョン研究センター主催 柏の葉アーバンデザインセンターでの市民とのまちづくりワークショップへの活用セミナー 登壇
- チュラロンコン大学サシン経営大学院のセミナー 登壇
- 大正大学 「AI画像解析は社会でどう活用されているか」ゲスト講師
- タイ バンコク 高専「KOSEN-KMITL」連携協定に基づく定期的な講義

海外事業

- 日タイ政府及びPTTグループ共催「Zest Thailand 2023」登壇

その他

- 2023年度 グッドデザイン賞 受賞 駐車場満空把握AI画像解析ソリューション「デジパーク」
- デロイトトーマツ主催 テクノロジー企業成長率ランキング 2022年日本テクノロジー Fast 50 受賞



- 当社の概要
- **財務成績と事業モデル**
- 成長戦略の方向性

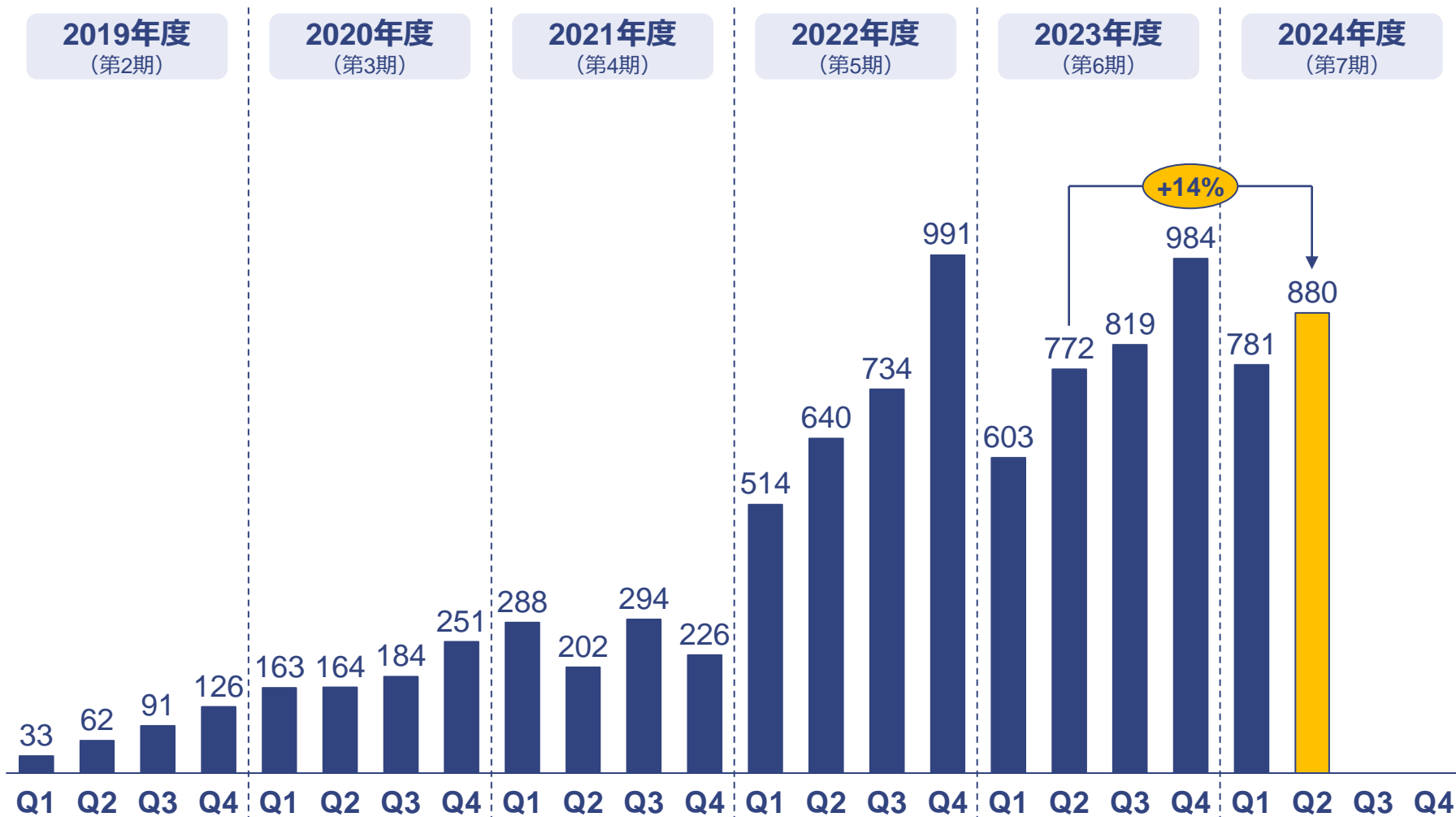
2024年12月期（第7期）第2四半期 連結業績 – 急速なペースで収益性が回復

(百万円)

| (百万円) | 2023年 12月期 Q2実績 | 2024年 12月期 Q2実績 | 増減額 | 増減率 |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|---------------|
| 売上高 | 772 | 880 | +108 | +14.0% |
| 売上総利益 売上総利益率 | 507 65.7% | 579 65.8% | +72 | +14.2% |
| EBITDA EBITDA% | -177 - | 31 3.6% | +208 | - |
| 営業利益 営業利益率 | -221 - | -5 - | +216 | - |
| 当期純利益 当期純利益率 | -172 - | -35 - | +137 | - |

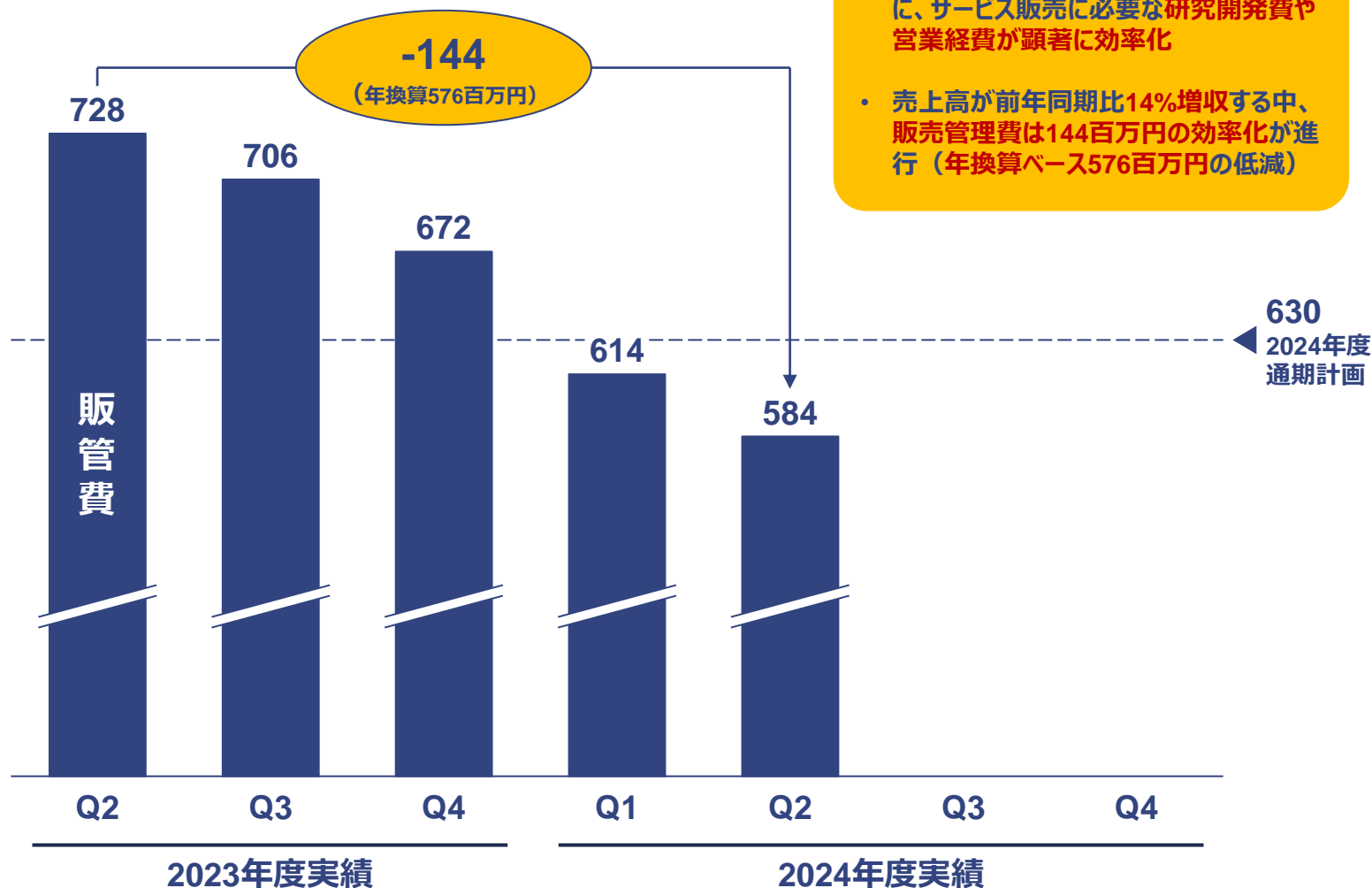
四半期売上高の推移

(百万円)



販売管理費の推移

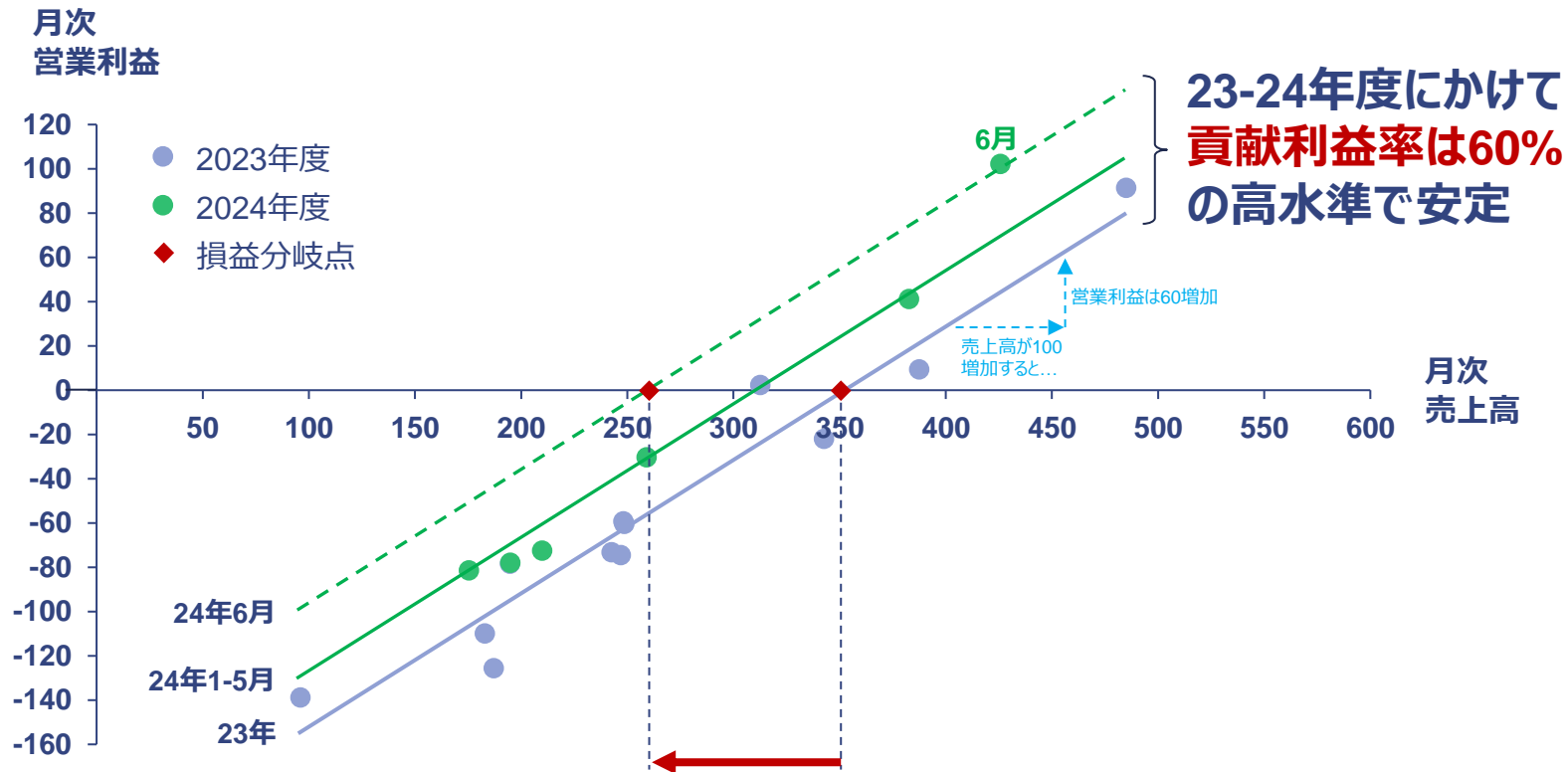
(百万円)



- 2023年度の自社AIサービスの確立を機に、サービス販売に必要な研究開発費や営業経費が顕著に効率化
- 売上高が前年同期比14%増収する中、販売管理費は144百万円の効率化が進行（年換算ベース576百万円の低減）

売上高と営業利益の関係（2023年度-2024年度 月次実績）

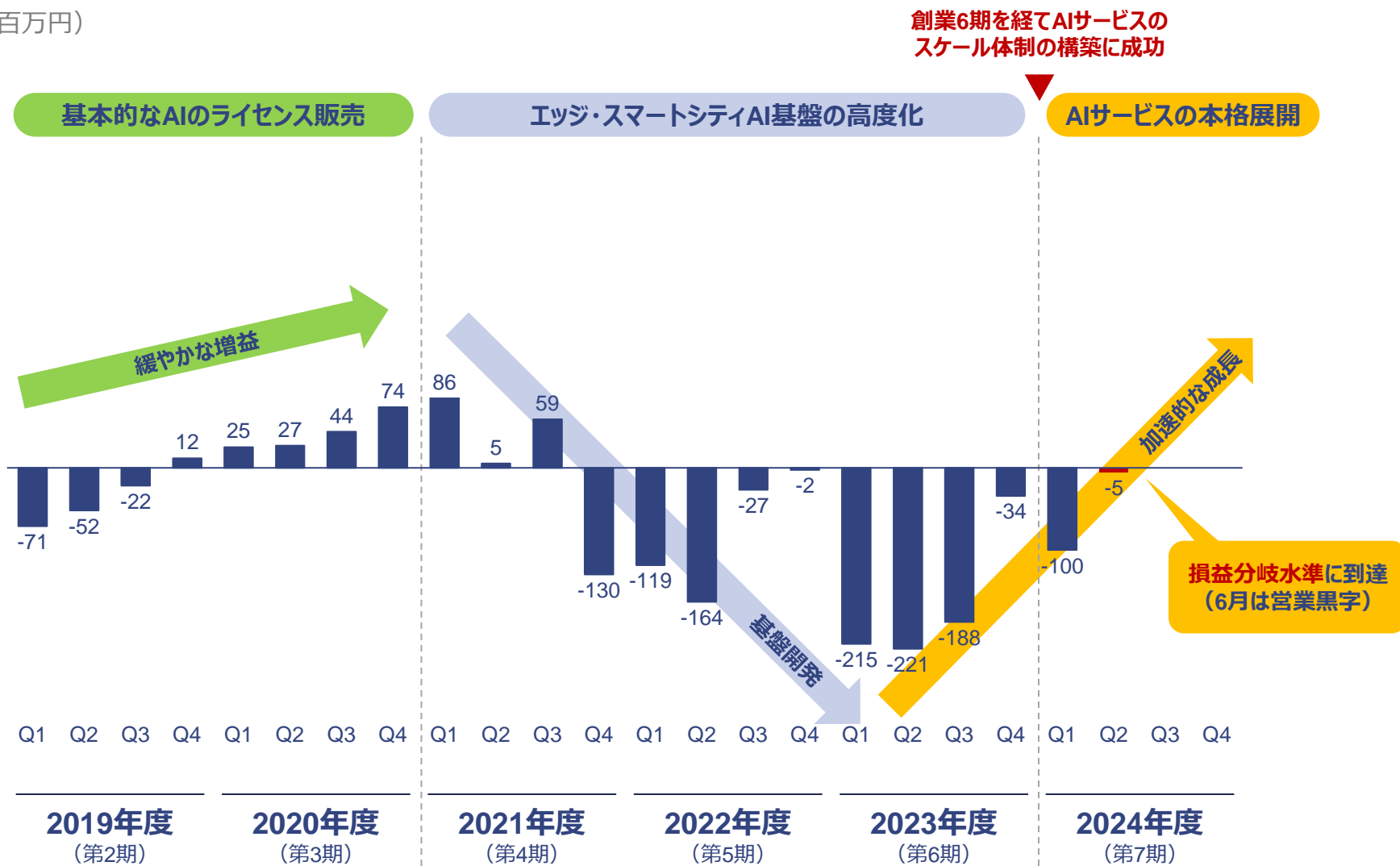
（百万円）



AIサービスの確立により営業・開発活動が効率化。結果、販売管理費が低下し、損益分岐点が大幅に改善。

当社事業の進化と四半期営業利益の推移

(百万円)



2024年 第2四半期の財務成果

第2四半期に損益分岐水準に到達
(最終月の6月は営業利益を実現)

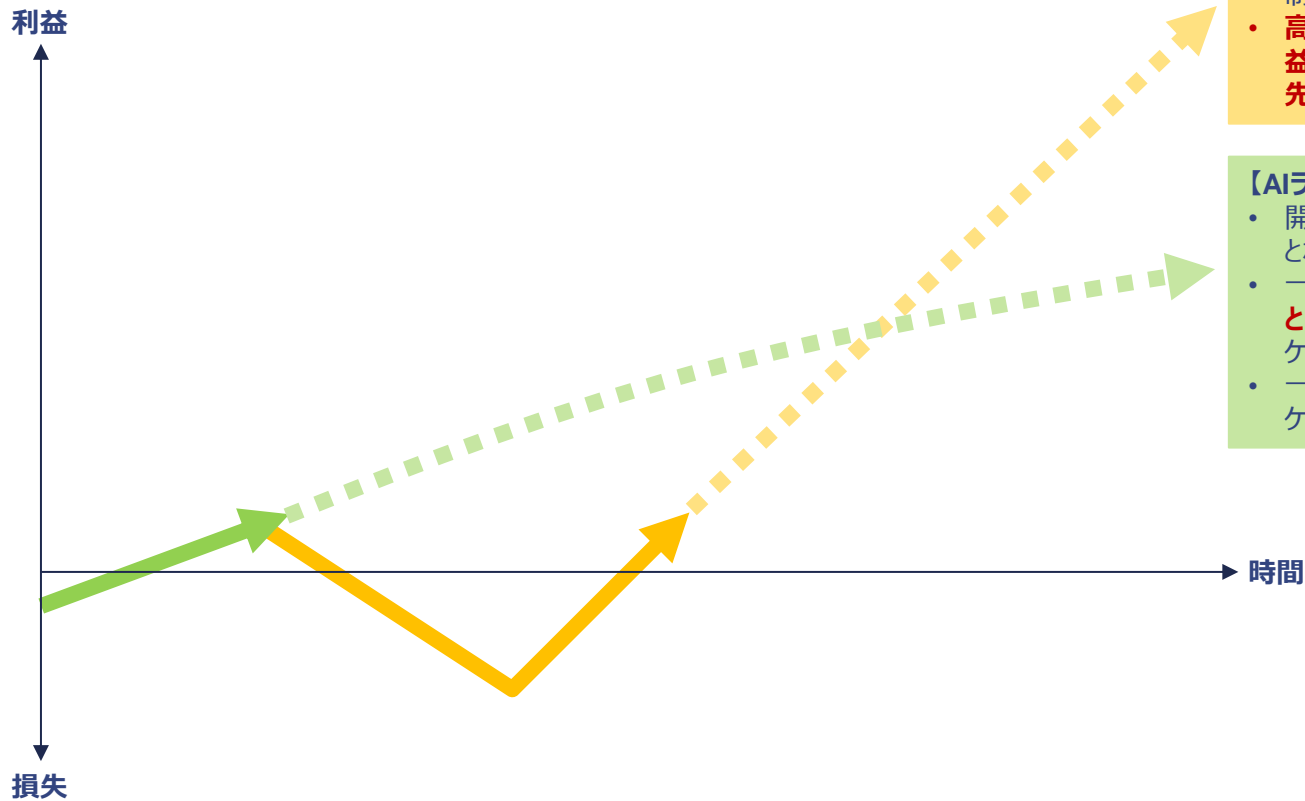
2021年度 第4四半期から約2年間に渡る事業投資を経て
利益・キャッシュの創出フェーズ (投資回収フェーズ)
への転換に成功

第3四半期からの利益創出に目途
(高い限界利益率に下支えされ、
損益分岐後は**急峻な利益立ち上がり**を想定)

NVIDIAのエッジボックスやLED素子の輸入・仕入に影響するドル円為替は、コーポレートレート**160円/ドル**で想定。円高へ推移した場合は、下期業績に対する**好材料**として寄与する見通し。

2021年度-2023年度における事業投資と赤字化の意義

【事業モデルによる利益拡大のイメージ*1】



当社の事業モデル

【AIサービス販売】

- AIサービスの構築に不可欠なフロント・バックエンドの多岐にわたる付帯AIシステムの開発が必要であることに加え、最終顧客への販売に向けた販売体制の構築も必要。
- 高限界利益で、スケール化による収益の飛躍が得られる一方、**短期的な先行投資が必要**となる点がデメリット。

【AIライセンス販売】

- 開発したAIアルゴリズム自体が収益源となり、**短期的な利益獲得**が可能。
- 一方、開発人員数や工数などの**人工と売上が連動**しやすく、将来的なスケール化を通じた利益の**飛躍に課題**。
- 一定の売上規模で、成長が**鈍化**するケースも散見される。

*1 本イメージ図はビジネスモデル選択によるスケール化の比較イメージです。本資料が将来的な当社利益を予想するものではありません。

- 当社の概要
- 財務成績と事業モデル
- **成長戦略の方向性**

当社の成長戦略

収益の拡大

- 自社AIサービスのスケール化を通じた**利益の拡大と飛躍**
- 自社AIサービスの選択と集中

収益モデルの強化

- 収益モデルの**リカーリング性**を強化
- **KizunaNavi**などの**SaaS事業**を積極強化

AI技術の探求

- 画像、音声領域の**先端AI技術**を自社サービスに搭載
- **生成AI**技術の研究を継続

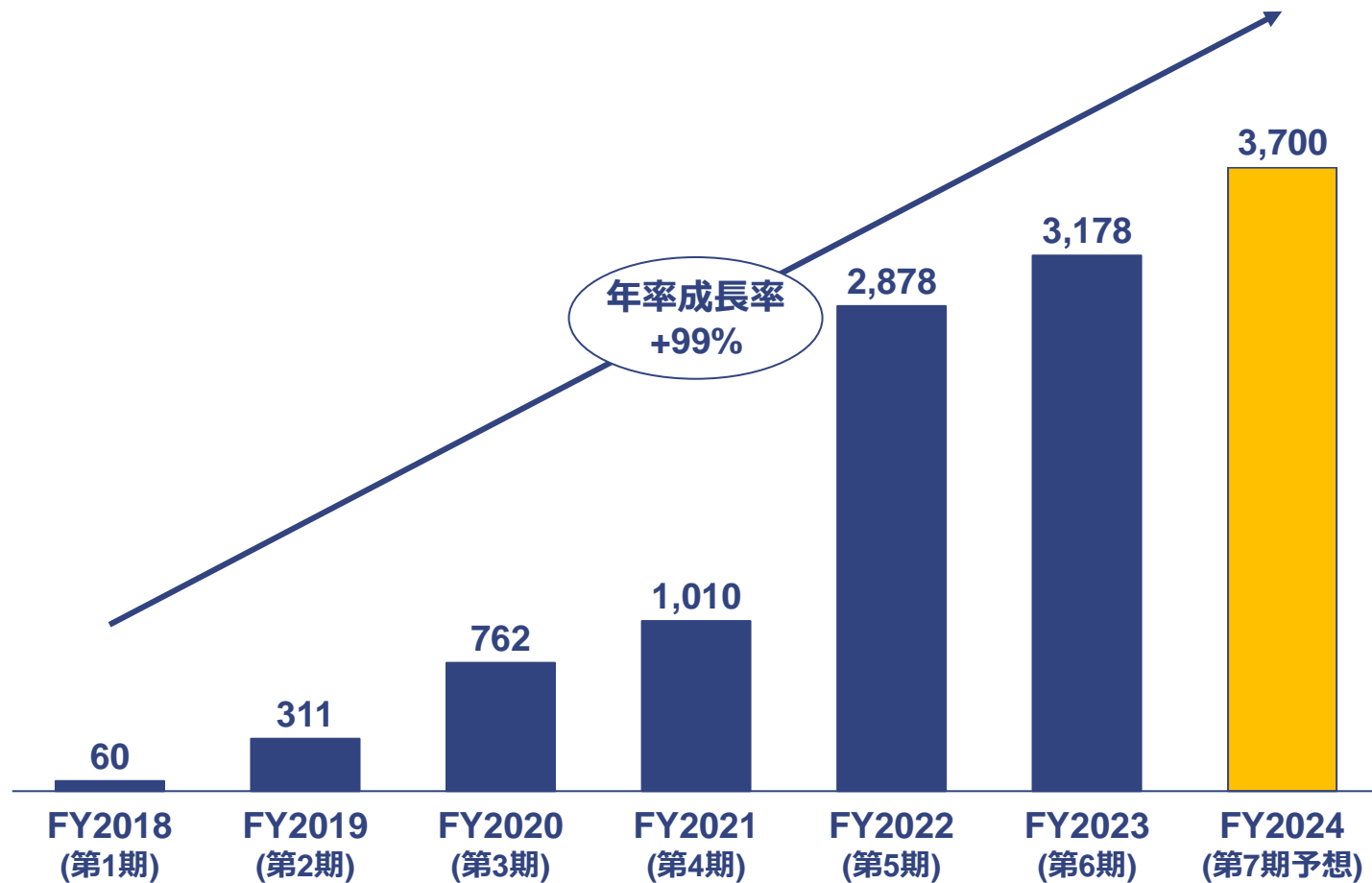
参考資料

会社概要

| | |
|---------------|---|
| 社名 | ニューラルグループ株式会社（英語表記 Neural Group Inc.） |
| 設立 | 2018年1月22日 |
| 代表者 | 重松 路威 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所 グロース市場（TYO: 4056） |
| 本社所在地 | 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー32F |
| 他拠点 | <ul style="list-style-type: none">▪ タイ支社（CRC Tower, All Seasons Palace, Wireless Road, Lumpini, Bangkok, 10330）▪ シンガポール支店（9 Straits View, Marina One West Tower, #06-07）▪ 他国内10拠点 |
| グループ会社 | <ul style="list-style-type: none">▪ ニューラルマーケティング株式会社（代表：山本正晃、100%子会社）▪ ニューラルエンジニアリング株式会社（代表：岩切翼、100%子会社）▪ Neural Group (Thailand) Co., Ltd.（代表：竹中一真、74%子会社） |
| 従業員数 | 239名（2024年6月末現在、役員・パート・アルバイト・業務委託を除く） |
| 事業内容 | 独自開発のAIアルゴリズムによる画像・動画解析と端末処理（エッジコンピューティング）技術を活用したAIエンジニアリング事業 |
| 加盟団体 | 日本経済団体連合会（経団連） 日本ディープラーニング協会（JDLA） 他 |

連結売上高の推移：創業以来、年率成長率+99%の急速な成長を継続

(百万円)



2024年12月期 連結通期 業績予想

(百万円)

**【第2四半期】
順調に推移**

| | 2023年 12月期 実績 | 2024年 12月期 業績予想 | 増減額 | 増減率 |
|--------------------------|---------------------|-----------------------|------|--------|
| 売上高 | 3,178 | 3,700 | +522 | +16.4% |
| 売上総利益 売上総利益率 | 2,063 64.9% | 2,550 68.9% | +487 | +23.6% |
| EBITDA EBITDA% | -490 - | 180 4.9% | +670 | - |
| 営業利益 営業利益率 | -658 - | 30 0.8% | +689 | - |
| 経常利益 経常利益率 | -686 - | 0 - | +687 | - |
| 当期純利益 当期純利益率 | -650 - | -120 - | +530 | - |

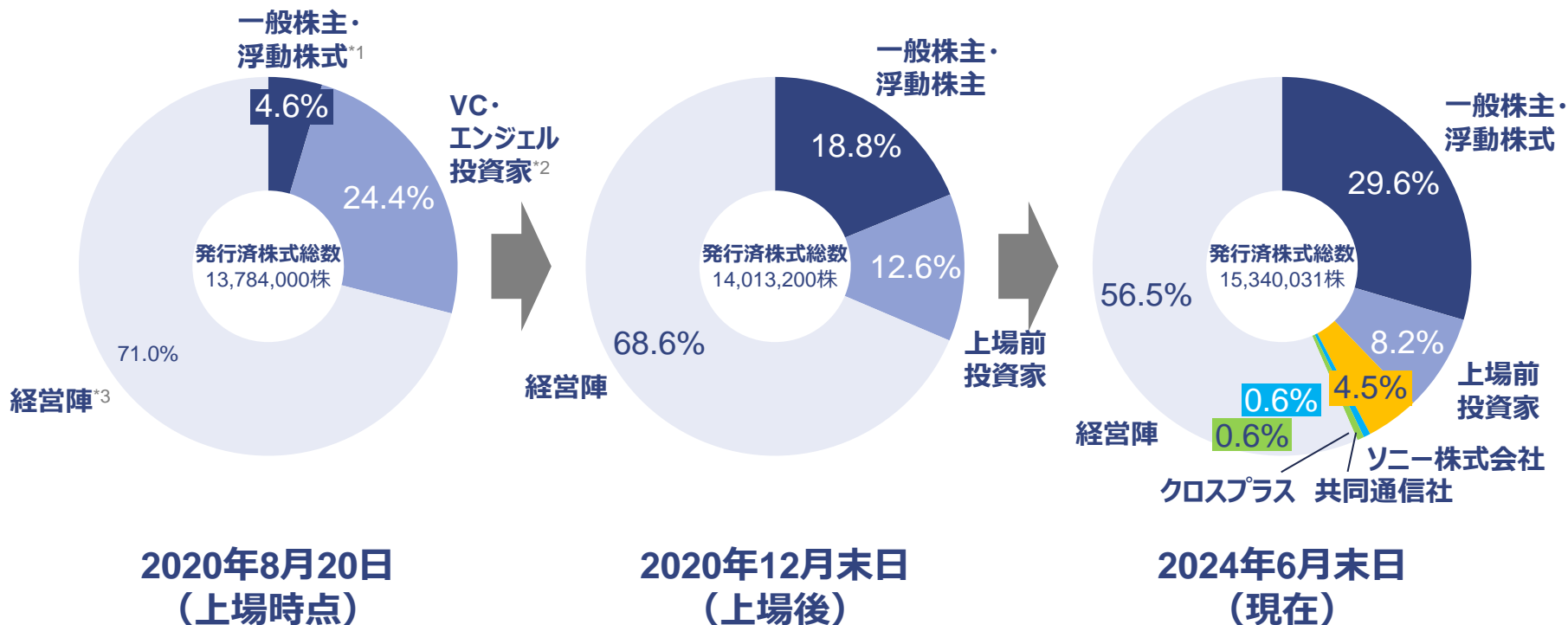
- 21-23年度の連続的な業績下方修正の結果を踏まえ、24年度は保守的ケースを会社予想として公表
- Q2までに計画していた各種コスト最適化施策実施完了、Q3・Q4それぞれで四半期黒字を計画
- Q4は10%水準の営業利益率を見込む
- 法人税等の影響で通期最終利益は損失を計画するが、下期中には四半期純利益黒字化予定

2024年12月期 第2四半期末：貸借対照表

(百万円)

| | 2023年12月期 第2四半期 | 2024年12月期 第2四半期 |
|--------------|--------------------|--------------------|
| | 2023年6月末実績 | 2024年6月末実績 |
| 流動資産 | 1,972 | 1,415 |
| うち現金及び預金 | 1,198 | 657 |
| 固定資産 | 1,788 | 1,567 |
| 資産合計 | 3,761 | 2,983 |
| 負債合計 | 3,013 | 2,455 |
| うち有利子負債 | 2,650 | 2,070 |
| 純資産合計 | 747 | 528 |

株主構成の推移

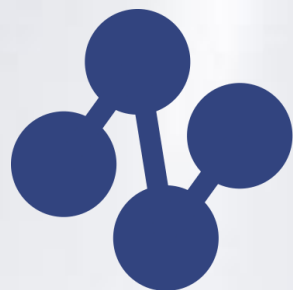


*1 2020年8月20日時点の発行済株式総数13,784,000株に占める、公募株式数415,000株と売出株式数215,800株（オーバーアロットメントを含む）合計に加え、上場前からの株主や経営陣等の売却株式数から算出。

*2 会社独自調査の結果認識している上場前からの株主（VC投資家、エンジェル投資家）の保有株式。

*3 当社経営陣の保有株式数

AIで心躍る未来を



NEURAL

ニューラルグループ株式会社

Neural Groupという社名には、AI技術をはじめとする最先端テクノロジーの開発を通じ、幅広い領域で、枠にとらわれない心躍るサービスの提供を目指したいという思いが込められています。リアル空間、バーチャル空間のいずれにおいても、エッジAI技術を活用し、AIカメラを用いたまちづくり、働き方改革や人的資本活用、ファッション・アパレル・エンターテインメントなど、様々な領域で、心躍る未来の社会をグローバルに実現していきたいと思ひます。

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。